

旭川市住宅リフォーム関連補助事業
についての調査
報 告 書

平成29年11月
旭 川 市

目次

I. 調査の概要	1
調査目的～回答結果	2
II. 調査結果のまとめ	3
(1) 世帯状況	5
(2) 将来的な同居願望	5
(3) 将来的な近居願望	6
(4) 近居の定義	6
(5) 住んでいる住宅種別	7
(6) 定期的な点検やリフォームの実施状況	7
(7) 定期的な点検やリフォームの必要性や重要性の認知度	8
(8) 住んでいる住宅で行いたいリフォーム	8
(9) 理想とする住宅	9
(10) 理想とする住宅の新古願望	9
(11) 老後に住みたい住宅	10
(12) 自立生活に不安を感じたり介護が必要になった際の住み替え願望	10
(13) 自宅でのバリアフリー改修のタイミング	11
(14) 敷地内の雪の処理方法	11
(15) 雪処理の苦労度	12
(16) 住んでいる地域の道路への雪出し状況	12
(17) 雪出しに関する法律の認知度	12
(18) 住宅の維持管理やリフォームなどへの自由意見	13～14

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査目的

今後の住宅施策立案の基礎資料とするため、住宅の維持管理やリフォーム、親子同居や近居など住宅や居住に対する市民意識について調査を実施した。

2. 調査方法

- (1) 調査対象 市政モニター制度登録者 96人
- (2) 調査方法 北海道電子自治体共同システムの簡易申請機能によるアンケート方式
- (3) 調査期間 平成29年9月28日～10月10日

3. 調査項目

- (1) お住まいの住宅の世帯状況について
- (2) 将来的な親や子との同居・近居願望について
- (3) 親と子の近居の定義について
- (4) お住まいの住宅について
- (5) お住まいの住宅での定期的な点検やリフォームについて
- (6) 定期的な点検やリフォームの必要性や重要性の認知度について
- (7) お住まいの住宅で行いたいリフォームについて
- (8) 理想とする住宅について
- (9) 老後の住宅について
- (10) 住宅のバリアフリー改修について
- (11) お住まいの住宅での雪処理について
- (12) お住まいの地域での道路への雪出しについて
- (13) 住宅の維持管理やリフォームなどについて

4. 回答結果

- (1) 調査対象 96人
- (2) 有効回答数 58人
- (3) 回答率 60.4%

Ⅱ. 調査結果のまとめ

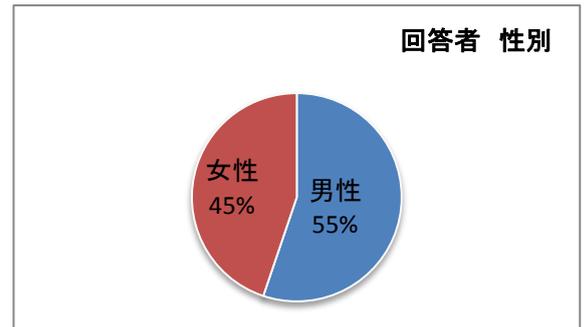
【平成29年度 旭川市住宅リフォーム関連補助事業についての調査】

対象数	96
回答数	58
無回答	38
回答率	60.4%



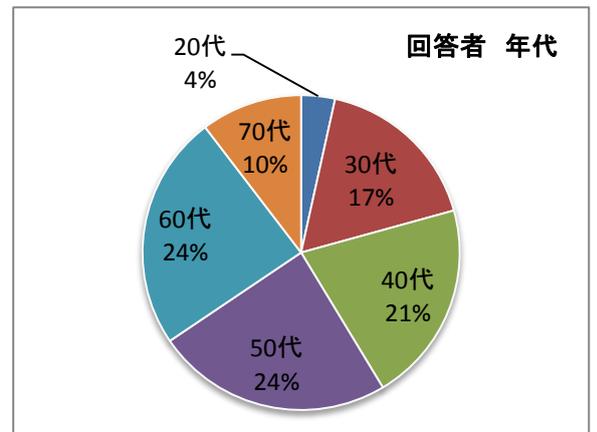
回答者 性別

n= 58		
男性	32	55.2%
女性	26	44.8%
無回答	0	0.0%



回答者 年代

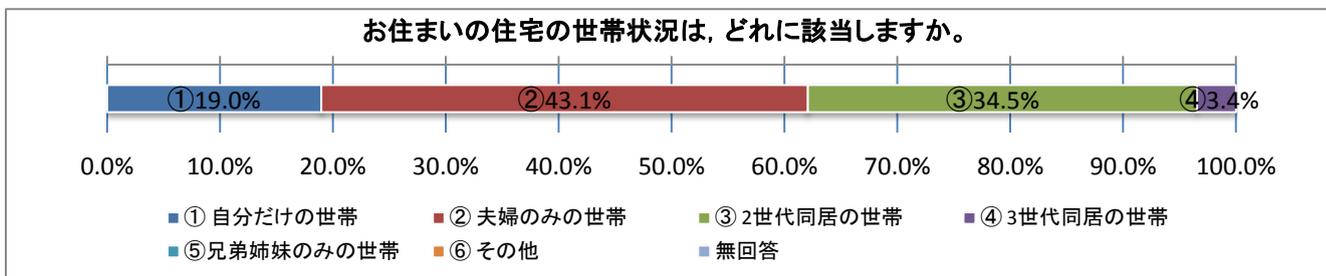
n= 58		
20代	2	3.4%
30代	10	17.2%
40代	12	20.7%
50代	14	24.1%
60代	14	24.1%
70代	6	10.3%
無回答	0	0.0%



【1】お住まいの住宅の世帯状況は、どれに該当しますか。

n= 58

① 自分だけの世帯(単身世帯)	11	19.0%
② 夫婦のみの世帯	25	43.1%
③ 2世代同居の世帯(自分と親, 自分と子)	20	34.5%
④ 3世代同居の世帯(自分と親と子, 自分と子と孫, 自分と親と祖父母)	2	3.4%
⑤ 兄弟姉妹のみの世帯	0	0.0%
⑥ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%



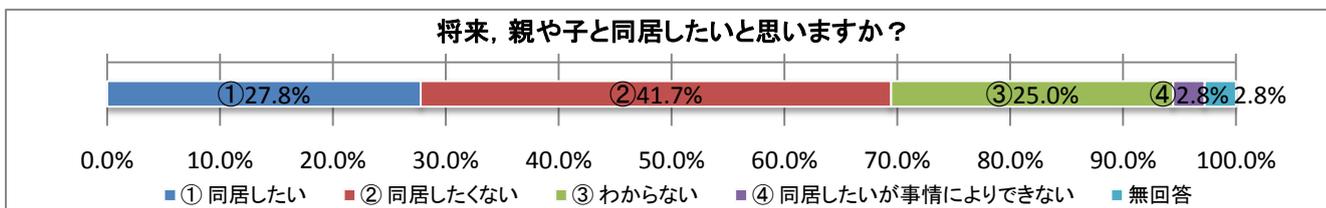
「夫婦のみの世帯」が43.1%と最も多く、次いで「2世代同居の世帯」が34.5%となっている。

【2】【1】で①, ②, ⑤, ⑥と答えた方のうち、親や子がいる方に伺います。
将来、親や子と同居したいと思えますか。

n= 36

① 同居したい	10	27.8%
② 同居したくない	15	41.7%
③ わからない	9	25.0%
④ 同居したいが事情によりできない	1	2.8%
無回答	1	2.8%

事情	1
→ 親が施設にいる	1



「同居したくない」が41.7%と最も多く、次いで「同居したい」が27.8%、「わからない」が25.0%となっている。

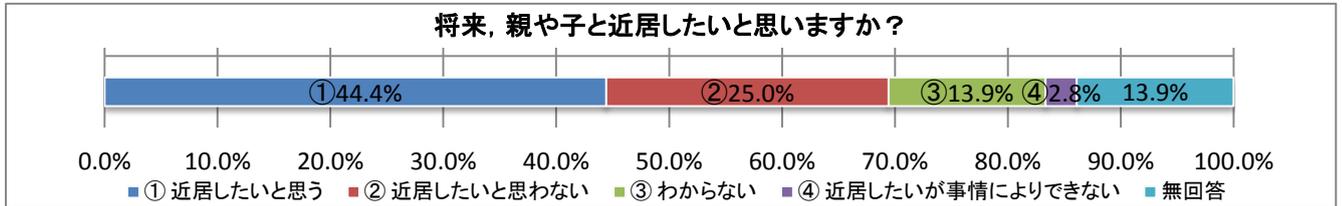
**【3】【1】で①，②，⑤，⑥と答えた方のうち，親や子がいる方に伺います。
将来，親や子の家の近くで暮らしたいと思いますか？**

※親と子が別々の家で近くに住むことを「近居」といいます。

n= 36

① 近居したいと思う	16	44.4%
② 近居したいと思わない	9	25.0%
③ わからない	5	13.9%
④ 近居したいが事情によりできない	1	2.8%
無回答	5	13.9%

事情		1
→	子供が遠方で暮らしている	1



「近居したいと思う」が44.4%と最も多く，次いで「近居したいと思わない」が25.0%となっている。

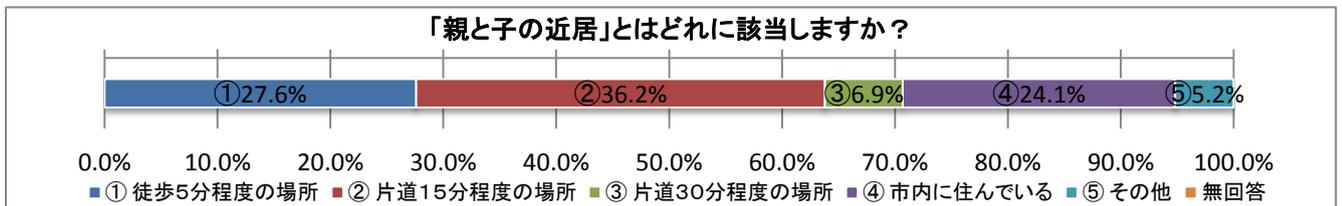
【4】すべての方に伺います。あなたが考える「親と子の近居」とは，次のうちどれに該当しますか？

※②③は普段行き来に利用している交通手段等による所要時間を指します。（徒歩・自家用車・公共交通機関など）

n= 58

① 徒歩5分程度の場所に住んでいる	16	27.6%
② 片道15分程度の場所に住んでいる	21	36.2%
③ 片道30分程度の場所に住んでいる	4	6.9%
④ 市内に住んでいる	14	24.1%
⑤ その他	3	5.2%
無回答	0	0.0%

その他		3
→	自分の衰えと共に時間は短くなる。現在は、1、2時間でも構わない。	1
	親も子もない	1
	質問の意図が分かりません	1

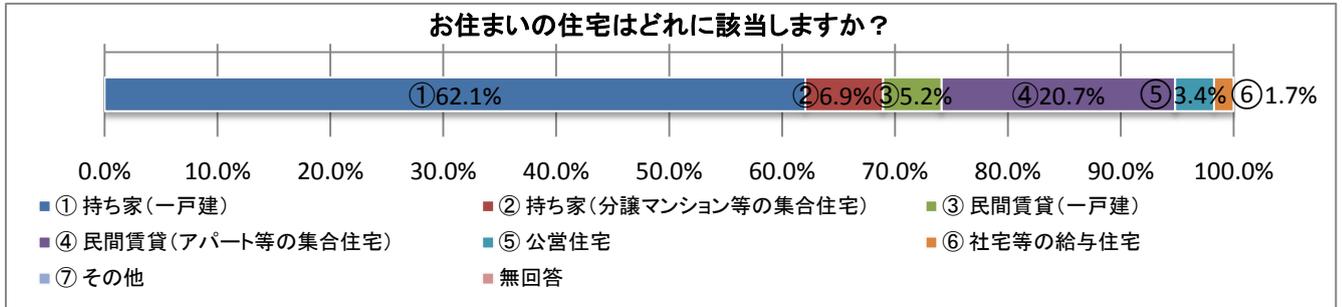


「片道15分程度」が36.2%と最も多く，次いで「徒歩5分程度」が27.6%，「市内に住んでいる」が24.1%となっている。

【5】 お住まいの住宅はどれに該当しますか？

n= 58

① 持ち家(一戸建)	36	62.1%
② 持ち家(分譲マンション等の集合住宅)	4	6.9%
③ 民間賃貸(一戸建)	3	5.2%
④ 民間賃貸(アパート等の集合住宅)	12	20.7%
⑤ 公営住宅	2	3.4%
⑥ 社宅等の給与住宅	1	1.7%
⑦ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%



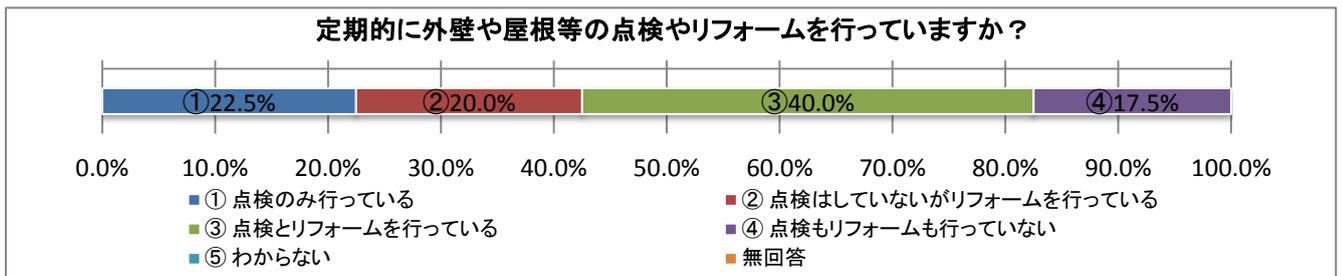
「持ち家(一戸建)」が62.1%と最も多く、次いで「民間賃貸(アパート等の集合住宅)」が20.7%となっている。

【6】 【5】で①や②と答えた方に伺います。

お住まいの住宅では、定期的を外壁や屋根等の点検やリフォームを行っていますか。

n= 40

① 点検のみ行っている	9	22.5%
② 点検はしていないがリフォームを行っている	8	20.0%
③ 点検とリフォームを行っている	16	40.0%
④ 点検もリフォームも行っていない	7	17.5%
⑤ わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

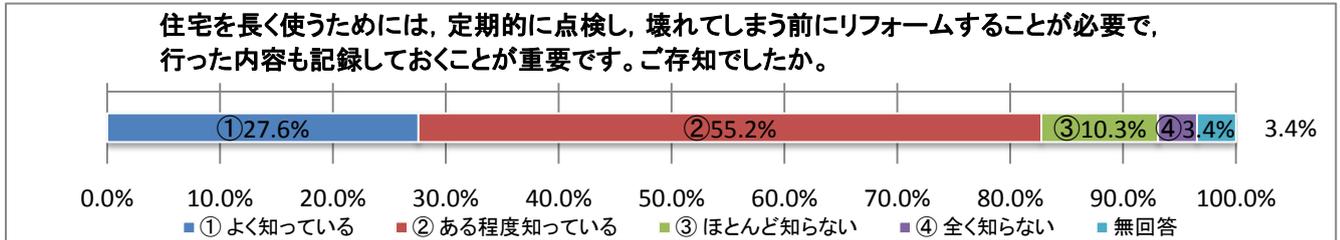


「点検とリフォームを行っている」が40.0%と最も多く、次いで「点検のみ行っている」が22.5%、「点検はしていないがリフォームを行っている」が20.0%となっている。

【7】住宅を長く使うためには、定期的に点検し、壊れてしまう前にリフォームすることが必要で、行った内容も記録しておくことが重要です。ご存知でしたか。

n= 58

① よく知っている	16	27.6%
② ある程度知っている	32	55.2%
③ ほとんど知らない	6	10.3%
④ 全く知らない	2	3.4%
無回答	2	3.4%

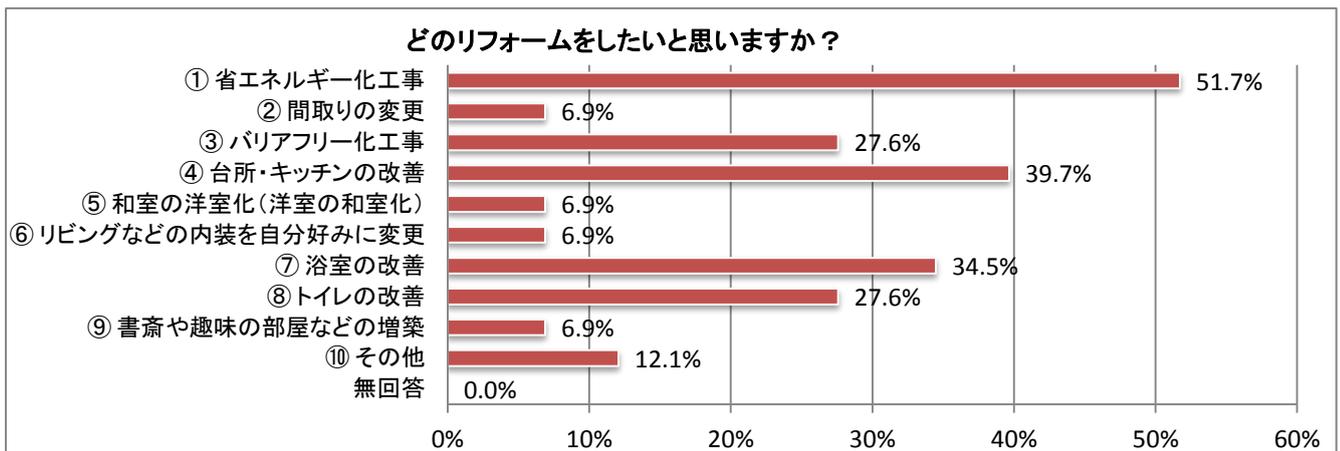


「ある程度知っている」が55.2%と最も多く、次いで「よく知っている」が27.6%となっている。

【8】もし、お住まいの住宅をリフォームできるとしたら、次のどのリフォームをしたいと思いますか。（3個まで選択可能）

n= 58

① 省エネルギー化工事（窓の断熱改修、外壁・天井・床の断熱材の付加）	30	51.7%
② 間取りの変更（リビングなどを広くする）	4	6.9%
③ バリアフリー化工事（手すりの設置、段差解消など）	16	27.6%
④ 台所・キッチンの改善	23	39.7%
⑤ 和室の洋室化（洋室の和室化）	4	6.9%
⑥ リビングなどの内装を自分好みに変更	4	6.9%
⑦ 浴室の改善	20	34.5%
⑧ トイレの改善	16	27.6%
⑨ 書斎や趣味の部屋などの増築	4	6.9%
⑩ その他	7	12.1%
無回答	0	0.0%



「省エネルギー化工事」が51.7%と最も多く、次いで「台所・キッチンの改善」が39.7%、「浴室の改善」が34.5%となっている。

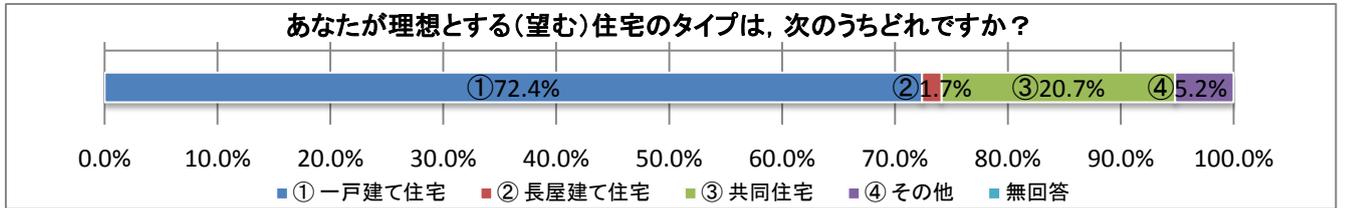
【9】あなたが理想とする（望む）住宅のタイプは、次のうちどれですか。

n= 58

① 一戸建て住宅	42	72.4%
② 長屋建て住宅(戸建住宅を複数連ねたもの)	1	1.7%
③ 共同住宅(アパートやマンション)	12	20.7%
④ その他	3	5.2%
無回答	0	0.0%

その他

古い平屋	1
共同住宅のうち高層住宅	1
どれとも言えない	1

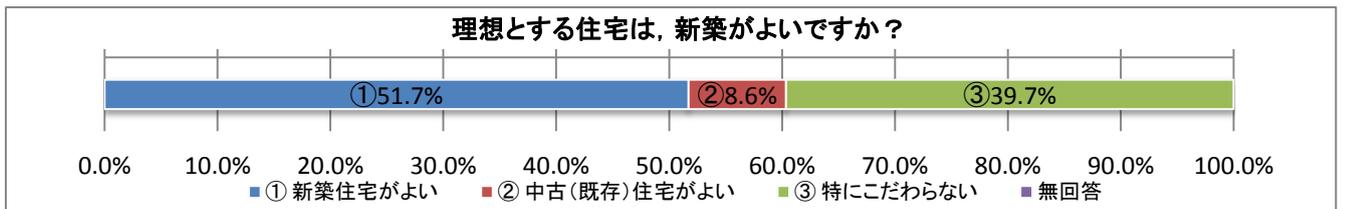


「一戸建て住宅」が72.4%と最も多く、次いで「共同住宅(アパートやマンション)」が20.7%となっている。

【10】【9】で答えた理想とする住宅は、新築がよいですか。

n= 58

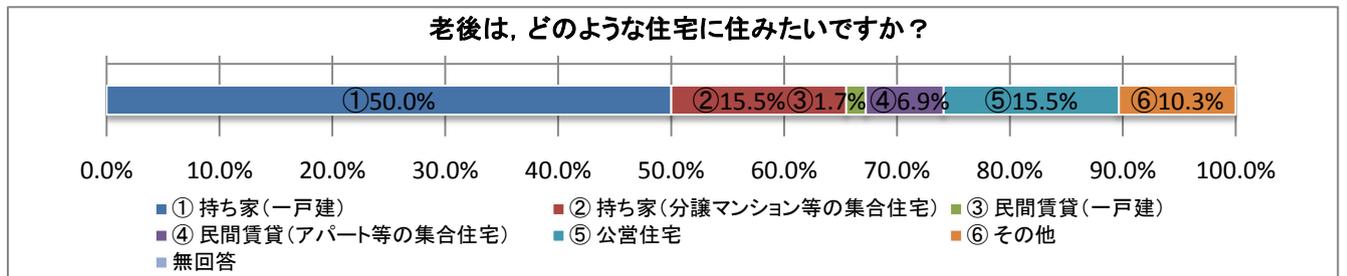
① 新築住宅がよい	30	51.7%
② 中古(既存)住宅がよい	5	8.6%
③ 特にこだわらない	23	39.7%
無回答	0	0.0%



「新築住宅がよい」が51.7%と最も多く、次いで「特にこだわらない」が39.7%となっている。

【11】 老後は、どのような住宅に住みたいですか。

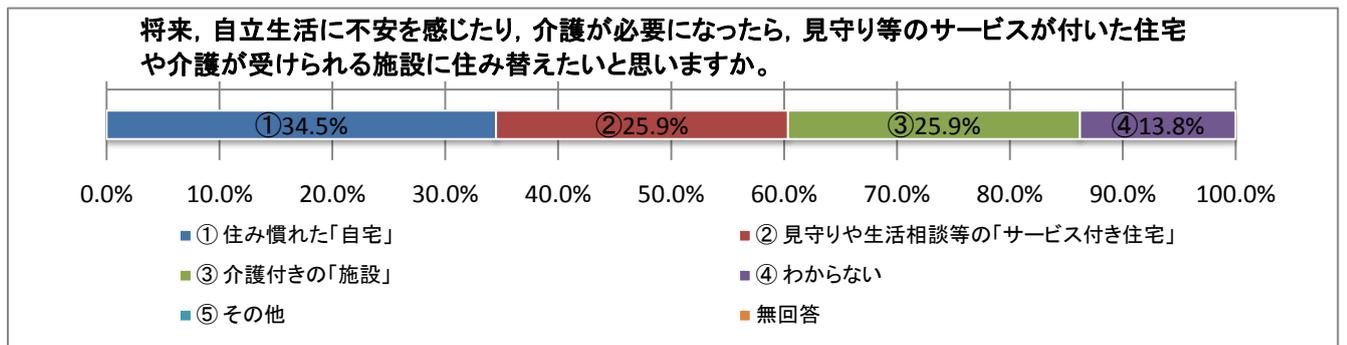
		n= 58		その他	
① 持ち家(一戸建)	29	50.0%			6
② 持ち家(分譲マンション等の集合住宅)	9	15.5%		グループホーム、老人施設	1
③ 民間賃貸(一戸建)	1	1.7%		老人マンション	1
④ 民間賃貸(アパート等の集合住宅)	4	6.9%		近くに海と温泉がある古い平屋	1
⑤ 公営住宅	9	15.5%		コレクティブハウス	1
⑥ その他	6	10.3%		悩み中・・・	1
無回答	0	0.0%		今は決められない	1



「持ち家(一戸建)」が50.0%と最も多く、次いで「持ち家(分譲マンション等の集合住宅)」, 「公営住宅」がともに15.5%となっている。

【12】 将来、自立生活に不安を感じたり、介護が必要になったら、見守り等のサービスが付いた住宅や介護が受けられる施設に住み替えたいと思いますか。

		n= 58	
① 住み慣れた「自宅」で暮らし続けたい	20	34.5%	
② 見守りや生活相談等の「サービスが付いた住宅」に住み替えたい	15	25.9%	
③ 介護付きの「施設」に住み替えたい	15	25.9%	
④ わからない	8	13.8%	
⑤ その他	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	



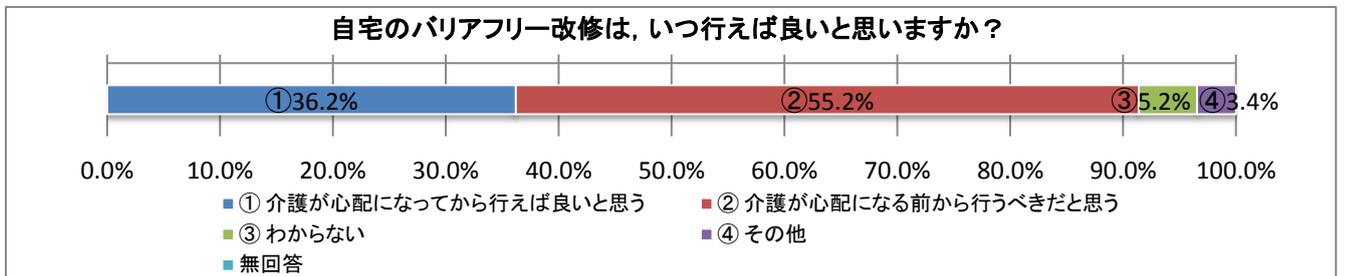
「住み慣れた「自宅」で暮らし続けたい」が34.5%と最も多く、次いで「見守りや生活相談等の「サービス付き住宅」に住み替えたい」, 「介護付きの「施設」に住み替えたい」がともに25.9%となっている。

【13】 自宅のバリアフリー改修（手すりの設置や段差解消など）は、いつ行えば良いと思いますか。

n= 58

① 介護が心配になってから行えば良いと思う	21	36.2%
② 介護が心配になる前から行うべきだと思う	32	55.2%
③ わからない	3	5.2%
④ その他	2	3.4%
無回答	0	0.0%

その他	2
必要ない	1
行っている(終了)	1



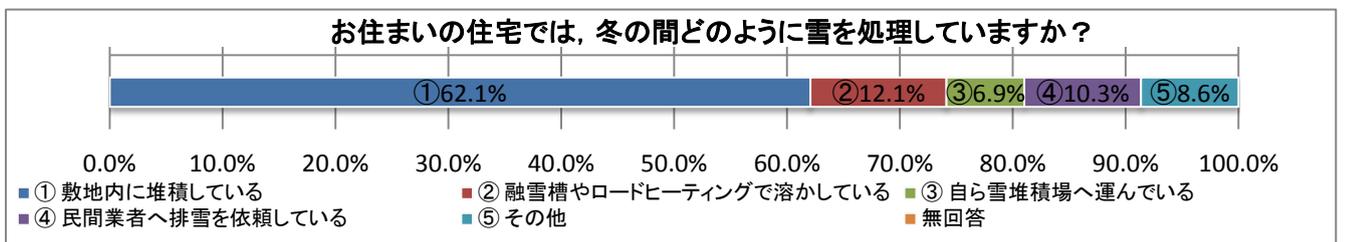
「介護が心配になる前」が55.2%と最も多く、次いで「介護が心配になってから」が36.2%となっている。

【14】 お住まいの住宅では、冬の間どのように雪を処理していますか。

n= 58

① 敷地内に堆積している	36	62.1%
② 融雪槽やロードヒーティングで溶かしている	7	12.1%
③ 自ら雪堆積場へ運んでいる	4	6.9%
④ 民間業者へ排雪を依頼している	6	10.3%
⑤ その他	5	8.6%
無回答	0	0.0%

その他	5
近くの空き地に堆積させていただいている。	1
自前の除雪機で排雪(敷地内)している。	1
流雪溝を利用している	1
大家さんがしてくれる	1
公共機関の排雪で足りている	1



「敷地内に堆積している」が62.1%と最も多く、次いで「融雪槽やロードヒーティングで溶かしている」が12.1%、「民間業者へ排雪を依頼している」が10.3%となっている。

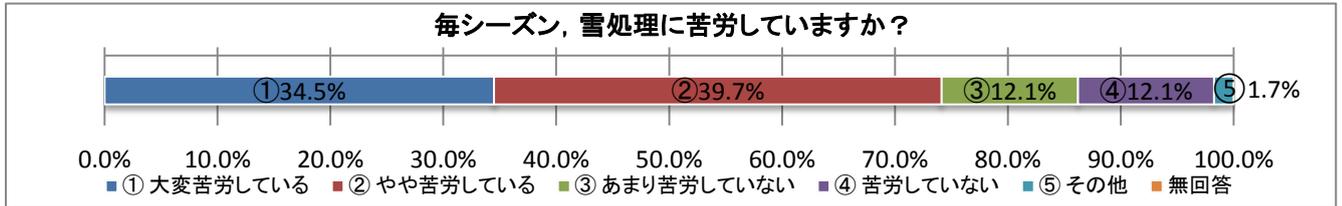
【15】 毎シーズン、雪処理に苦労していますか。

n= 58

① 大変苦労している	20	34.5%
② やや苦労している	23	39.7%
③ あまり苦労していない	7	12.1%
④ 苦労していない	7	12.1%
⑤ その他	1	1.7%
無回答	0	0.0%

→

その他	1
マンション管理組合で業者に委託しているし、平時は管理人が除雪する。	1

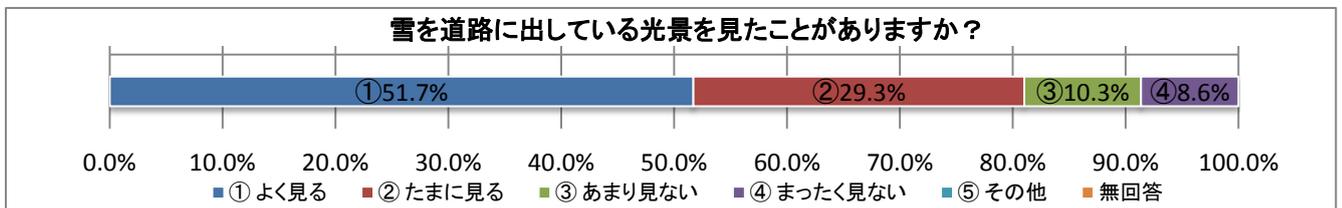


「やや苦労している」が39.7%と最も多く、次いで「大変苦労している」が34.5%となっている。

【16】 昨シーズン、お住まいの地域で住宅の雪を道路に出している光景を見たことがありますか。

n= 58

① よく見る	30	51.7%
② たまに見る	17	29.3%
③ あまり見ない	6	10.3%
④ まったく見ない	5	8.6%
⑤ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

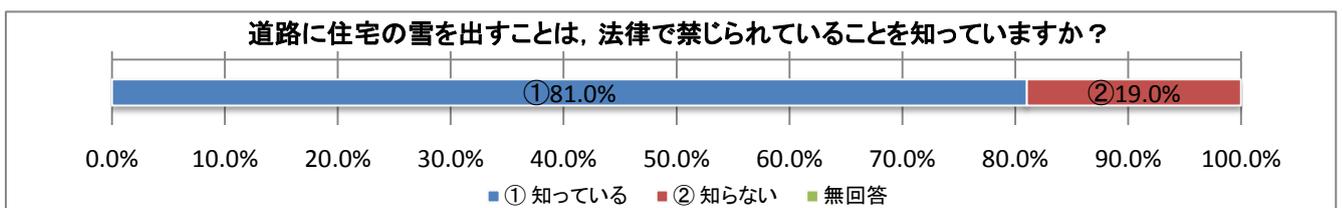


「よく見る」が51.7%と最も多く、次いで「たまに見る」が29.3%となっている。

【17】 道路に住宅の雪を出すことは、法律で禁じられていることを知っていますか。

n= 58

① 知っている	47	81.0%
② 知らない	11	19.0%
無回答	0	0.0%



「知っている」が81.0%となっている。

【18】住宅の維持管理やリフォームなどへの意見を記載してください。

1	まだ自宅を新築して間もないので、維持管理やリフォームといった事への関心は低いですが、早い段階からの準備(特に資金面)は必要と認識している。種類によっては市の助成金もあるので活用したいと思う。
2	費用がかかり過ぎるので賃貸の方が良いと感じている。
3	今後の分譲マンション地上50階建ての約500軒を達成している。
4	将来は身体障害者向けの施設に入所希望しているので、今の住宅にはお金も手間も掛けたく有りません。その日が来るまで壊れずに持ってくださいように。
5	建築物においては基礎が一番大事で絶対に安定していることなので建築工事は雪解け後着工・夏季～秋に完了がいいと思う。建物は水回りから壊れると聞くが自宅でも台所混合栓導管にピンホールにより床材下に漏水しカビ臭と床の変色で気が付き交換、その後トイレウォシュレットタンク漏水で床に漏れ・屋外散水栓が埋設部の銅部分が腐食わずが10年で漏水・交換・サイディング コーキング目地硬化で隙間で打ち替え(3年かけ自分で施工)など・今不安は屋根が無落雪勾配なので雪解け頃のスガ漏りがありそうなこと・現在の屋根上にスタイロホームひいて2重屋根の考えもあり。また、エコキュートへの電気温水器からの切り替えも検討だが、施工費など見比べてるが病氣もしてしまい老後の生活費不安と受け継ぐ子供も離れることになると思い修繕には今後節約の方向と思う・将来的に借家も考慮しそこそ修繕して維持する予定。
6	住宅の維持管理やリフォームにおいては数十万円～数百万円と多額の資金が必要となりますので、低所得世帯には固定資産税・都市計画税・道市民税等を課税しないで無税にしてほしいし補助金も出してほしいです。多額の費用で中々、住宅のリフォームが必要でもできませんので税免除や補助金の制度があれば少しでも住宅のリフォームができるようになると思います。
7	屋根の塗装の塗り直しとか外壁塗装に定期的に費用がかかることを早い時から把握しその為の貯蓄をする。これは反省です。次の計画は屋根の塗り直しです。
8	定期的に点検して早期に補修すること。
9	旭川市の「リフォーム補助事業」についての改善要望。 ----- 1.毎年、事業内容を変更するので、計画的なリフォームに活用できない。 2.補助周知期間が短く、検討できないため、申し込めない。(また、前年のフォーマットも活用できない) 3.抽選のための申請書類が多く、甚だ疑問。また、素人には作成困難な資料がある。 4.補助対象金の総額が少なく、抽選のため、納税者には「不公平」だ。 5.担当窓口、補助種別がバラバラで、市民目線のワンストップ・サービスになっていない。
10	行政等からの補助制度の有無を知りたいが、ほとんど知らない。
11	現在、旭川市で実施しているリフォーム関連補助事業の内容や利用状況について詳しく知りたい。年金生活では、定期点検や補修・リフォームの必要性を理解していても資金面での問題もあり、間隔が次第に長くなってきている。今後も補修やリフォームができるか不安である。具体的な補助事業についての周知と充実・強化を希望する。
12	1. 持ち家には自分で維持管理が原則でしょう。 新築(リフォーム)の時にバリアフリーをすると良いと思う。特に階段、トイレ、風呂など 2. 冬は道路の使い方です。 除雪車が通過した後に、道路に排雪する人を多く見かけます。そのため、2車線がだんだん狭くなり、交通の障害になります。また、国道の脇に雪を積み上げている家庭が、多く見受けられます。本当何とかしてほしい。狭い道路から広い道路に出る角に雪を積んであるのでなかなか、車で広い道路に出るのは神経を使います。 一番の問題は道路に駐車する人が多い。夕方から翌朝まで(車庫をもっていない)時々は警察も取り締まってほしい。特に冬季間です。
13	年金生活に入ってからリフォームは資金繰りが難しい。
14	定期的に住宅メーカーの方に見て頂いて必要時、補修して頂いてます。長く住むには定期的に見てもらい老後も住めれば良いなとおもってます。

15	リフォームしたくても、住宅ローンで出来ないのが現状！
16	これと、市政がどのようなつながりをもつのか、イマイチよく分からない。 それと、世帯に関する項目に不備があり、非常に若者 & 子育て世代をないがしろにしていることがよく分かるアンケートでした。
17	独居老人の一軒家についての冬期間の除雪、屋根の雪をおろす作業について、市の補助制度などがあるのか？無いのか？が気になっております。 特に、屋根の雪おろしに関しては、高齢者の方が一人で作業することは危険だと思いますし、女性の場合だと出来ずに放置しているケースもあるかと思えます。 その場合、お隣さんとのトラブル等の発生も予期されることと思いますので、冬期間の住宅の維持管理の在り方に関しても検討する余地があるかと思えます。
18	持ち家じゃないので難しいところですが、ダメになったら直してもらっています。 持ち家になったとしても、同じかなあ？
19	今自分の足腰が悪くなり住んでいるアパートの部屋のちょっとした段差につまづきます。大家さんが工務店なんですけど逆に言いづらいまいます。
20	マンションなので 大規模修繕に積み立て以外のお金がかかる場合は 心配です。 建物自体が古くなった場合はそのようになるのか？ 住み替えになるのか？ とても不安になることもある。
21	この設問で、今回の調査の趣旨は満たせるのかなあと、ちょっと疑問に感じてしまいました。
22	持ち家は理想で住み続けたいが、維持費が高すぎることで、雪の処理が年々辛くなっている。雪対策のための費用を助成してもらえればと思う。安心して依頼が出来る業者を、公平な目から見て選んだ優良業者などの情報があればいいと思う。
23	シニア世代となり、除雪や住宅の管理修繕にも限界がきそうです。 現在の住まいに手を掛けることは余り考えた事が無い。 理想は安価で見守りや生活全般の相談が可能な住まいがあれば嬉しい。
24	持ち家でマンションであろうと一軒家であろうと、定期的に屋根、外壁を修繕しないと、一時的に多額の費用が掛かるので、要注意です。 長持ちさせる要件です。
25	新築して20年が経過し、15年目に壁や屋根の塗装などを行いました。今後、古くなるにつれて修理などが必要になると思います。自分の年齢などを考えながら計画的に行う必要があると思っています。